

作成日付	作成者
承認日付	承認者

目的 その他資産の実在性の検討を実施する。

メモ  
 その他資産は、前渡金、前払金、前払費用、長期前払費用、敷金、〇〇等で構成される。  
 そのうち、固有リスク及び金額的重要性等を鑑み、検討対象科目は前渡金、前払金、前払費用、長期前払費用である。  
 よって、当該科目に関し、検討を実施することとする。

金額単位 円

前提

1.前渡金、前払金、前払費用は以下のように使い分けを実施している。

科目	内容
前渡金	将来的な販売を目的とする商品を仕入する際に、商品を受け取る前に手付金、内金などを支払うもの。
前払金	一時的なものの仕入のうち商品以外または、継続的な役務提供サービスの仕入する際に、役務提供サービスを受ける前に手付金、内金などを支払うもの。
前払費用	継続的な役務提供サービスの仕入する際に、役務提供サービスを受ける前に手付金、内金などを支払うもの。

2.敷金は、賃貸借している本社に関するものである。

本社は移転していないため、敷金計上額は前期残高と同額であることが期待される。

原状回復義務があるため、資産除去債務の検討を行う必要があるが、資産除去債務の検討は〇〇WPで検討を実施している。

手続

番号	科目	内容	シート
①	前渡金、前払金、前払費用	各科目の期末残高一覧表を確認し、科目間の入り繰りがないか確認を実施。	20.検討
②	前渡金、前払金、前払費用	当期末残高計上資産に関し、サンプルで詳細テストを実施。	20.検討
③	敷金	前期残高を期待値とし、分析の実証手続を実施する。	20.検討

数値

科目	前期	当期	増減	増減率	コメント
前渡金	前期調書/	20.検討/	0	#DIV/0!	
前払金			0	#DIV/0!	
前払費用			0	#DIV/0!	
敷金	/		0	#DIV/0!	

/S100\_総括分析

結論 現金及び預金の実在性、網羅性すべてが確認された。

作成日付	作成者
承認日付	承認者

科目	当期
前渡金	A/
前払金	B/
前払費用	C/
敷金	D/

/10.サマリー

手続

①前渡金、前払金、前払費用の各科目の期末残高一覧表を確認し、科目間の入り繰りがないか確認を実施。

結果

前渡金、前払金、前払費用の各科目の期末残高一覧表を確認し、科目間の入り繰りがないことが確認された。

手続

②当期期末残高計上資産に関し、サンプルで詳細テストを実施。

検証元資料

総勘定元帳

サンプル抽出

各科目無作為に1件ずつサンプル抽出を実施。

サンプル抽出の詳細検討は〇〇WP実施。

Tickmarks

- α 請求書の役務提供日付と仕訳計上日が整合することを確認。
- β 請求書の請求金額と仕訳計上金額が整合することを確認。

前渡金

日付	Tickmarks	借方科目	借方金額	Tickmarks	貸方科目	貸方金額	摘要欄
	α			β			
		その他					
		合計					/A

前払金

日付	Tickmarks	借方科目	借方金額	Tickmarks	貸方科目	貸方金額	摘要欄
	α			β			
		その他					
		合計					/B

前払費用

日付	Tickmarks	借方科目	借方金額	Tickmarks	貸方科目	貸方金額	摘要欄
	α			β			
		その他					
		合計					/C

結果

サンプルで詳細テストを実施し、前渡金、前払金、前払費用の実在性を確認した。

手続

③前期残高を期待値とし、分析の実証手続を実施。

当期計上残高	期待値	差額	判定
		0	OK

/D

結果

分析の実証手続を実施し、敷金の実在性を確認した。

単語	意味
<b>Ref.</b>	「reference」の略。 資料間の数値の根拠、つながりを示してあげるもの。 /○○と記載するものが詳細検討したもので、 ○○/が詳細検討した結果を受ける先である。
<b>Tickmarks</b>	チェックした内容を示す記号。 決まりはなく、各担当者が自由に決めることができる。
<b>WP</b>	「Working Paper」の略。 検討調書のことである。